

おしどりミニだより



OMI CHIROBAKAI

社会福祉法人近江ちいろば会
地域密着型デイサービス
デイケアの家おしどり

梅雨といえばシトシトというイメージでしたが、最近の雨は局地的豪雨となり様々なところで被害が出ています。甚大な被害の出ている地域もあり少しでも被害が少ないこと、尊い命が救われますようにと祈るばかりです。豪雨、コロナと警戒することばかりですが利用して下さる皆様と愉快的な会話や生活リハビリで心も体も元気に過ごしていきたいものです。

2020年7月



いい日常生活支援

おしどりの生活リハビリとは「いい日常生活」を支援することと考えています。「いい日常生活支援」の「いい」という部分に、楽しい、嬉しい、やりがいのある、自分らしい、充実した、誰かのために、自分のために等を置き換えてみることでより具体的になってきます。

以前していたことが様々な理由で継続困難になっても少しの支援があれば思いを達成することが出来るかもしれません。少しの支援が何であるかを考えることで、出来ないを出来るに変えて行くことが可能になります。

例えばある方は「若いころから畑で作物を作ってきたが今は体が思うように動かなくなった。」とおっしゃいます。そこでどの部分が出来なくなったのかを見極めて「一緒に畑仕事をしませんか？」と提案します。出にくくなった部分を補う事で、作物

を育てる、愛でる、慈しむ、そして収穫の喜びを味わうことができます。今までの畑で経験された知恵を教えていただけるということもスタッフにはあります。さらにその方の今の力を最大限発揮していただけます。全てができなくてもつながりによって生活に喜びや満足感が生じて心の張りが生まれます。

又、日常生活に必要な筋力や体力を機能訓練Ⅱのリハビリで維持継続し心と体の（やりたいという気持ちと体力）バランスを保ちつついい日常生活への支援をしていきたいと思えます。

おひとりおひとりが求める希望や夢、想いは違う分、個々にあった日常生活支援が必要となります。

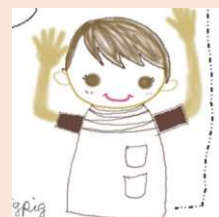
おしどりではその方の想いをお聞きして、その方が求めておられるいい日常生活支援（生活リハビリ）を共に考えて行きたいと思っています。

お知らせ!! 介護相談日開設

介護のことを話ませんか

日頃の介護の迷いや悩み等、誰かに話しをするだけで気持ちが楽になり、日常生活が新たに思えることもあります。日常の不安や疑問、考え方など一緒に考えましょう。気軽にお喋りをする感覚でお越しくください。お待ちしております。

- ・日時 電話でご予約下さい。電話 0748-74-0005
- ・場所 デイケアの家おしどり 相談室
- ・担当 (介護福祉士・認知症カウンセラー)





梅干しを漬けました。「食べる頃は暑い夏やなあ〜」



現在の梅干しの様子。あとは土用干しを待つのみです。

おやつにおはぎを作りました。「みんな喜ぶで〜楽しみやな」



日常生活の中で今までされてきたこと、これからも続けたいこと、誰かと一緒になら新しくチャレンジ出来る事・・e t c 誰かのために、自分のために、今ある能力や力を充分使って充実した日々を過ごしておられます。



様々な生活リハビリ



私が「洗濯物干すよ〜」
「私も一緒にするよ〜」

3時のおやつは和菓子でした。
お抹茶を点てて「初めての経験やわ〜と喜んでくださる方も」



雨続きの日の卓球大会



卓球をしませんか？
「昔はよくやったなあ！」
「今はどやろ？」
「やったら体が覚える〜」
「そら！スマッシュ」

